

フロンティア研究院招聘研究者の講演のお知らせ

2015 年 11 月 25 日

伊藤孝行研究室・URA オフィス主催

クラウドを使ったオンラインデータ管理は、急速にデジタル化する私たちの日常に重要な技術です。

講演者の Mark Klein 教授は、大規模オンライン思案や複雑に相互依存する問題における交渉プロトコルを使って、仮想現実とソーシャルメディアを集積した知識の管理と大規模なネットワークシステム障害を管理する研究をされておられます。今回は、クラウドコンピューティングの進歩についてご講演いただきます。

Title: “Advances in Crowd Computing”

(クラウドコンピューティングの進歩)

Mark Klein 教授, MIT

(Center for Collective Intelligence)

開催日時 : 2015 年 12 月 9 日 (水曜日) 11 : 40 - 12 : 40 (60 分)

場所 : 4 号館 1F, 大ホール

Language: English

対象 : 大学院生及び教員

Research field: Large scale argumentation,
On-line deliberation, Collaborative technologies,
Collective intelligence, Winner determination,
Trading agent competition, Combinatorial auctions



略歴

- 1981 ダートマスカレッジ, ニューハンプシャー, USA (生化学, 学士)
 - 1986 イリノイ大学, イリノイ, USA (コンピュータサイエンス, 修士)
 - 1989 イリノイ大学, 人工知能 (コンピュータサイエンス, 博士)
 - 1989 - 1991 日立高度研究所 (訪問研究者)
 - 1991 - 1995 ボーイングコンピュータサービス, コンピューターサイエンス (人工知能研究専門員)
 - 1995 - 1997 ペンシルバニア州大学実用研究所情報システム部 (研究員)
 - 1997 - 2000 MIT Sloan School of Management (主任研究員)
 - 2000 - Present MIT Sloan School of Management (主任研究員)
- 2013 年より、スイスのチューリッヒ大学にて客員研究員を兼任

問合先: 内線 7424 (URA オフィス)